



平成23年度第1回 総会が 行われました

平成23年4月24日、中播磨地域ビジョン委員会第一回総会において、95名の皆さんが知事からの委嘱状を交付され、委員会発足後初となる3年目がスタートしました。



学会議が行われました

中播磨地域ビジョン委員会

平成23年7月27日(水)15:00~ 姫路労働会館 多目的ホールにて中播磨地域夢会議を開催!

中播磨地域ビジョン委員会では、中播磨のめざすべき地域像を示す「中播磨地域ビジョン」の策定から10年が経過することから、ビジョンの点検・見直しをすすめ、このたび幅広い県民の皆様のご意見を反映した「中播磨地域ビジョン」の改訂案を作成しました。

またこれに併せて、兵庫県全体のめざすべき将来像を描いた「21世紀兵庫長期ビジョン」の改訂案も示されたことから、両ビジョンの改訂案をもとに、これからめざすべき地域の姿や、実現に向けた取組について県民の皆様と意見交換を行うため、「中播磨地域夢会議」を開催しました。









この中播磨地域全体の特色なんですけども、それぞれの市町それぞれの地域の個性・色合いというのが非常にくっきりと見えるような印象をもっています。そういう多彩なカラーに富んでいて、地域ビジョンの中でも中播磨地域のビジョンがどういう風にできるのかというのを非常に注目もし、期待もしている所です。特に他のビジョンの議論と抜きに出てる所がありますのが実現にむけた具体化のやり方を議論しようという事で、どういう風にやるかというのを具体的な最後の段階までにこなそうとしているんですけども、こういう実現に向けたステップをどういう風に手順をつくしてプログラム化していくか、それをどういう風に事後点検していくかという事は、このビジョンを作る事と同様にというか、おそらくそれ以上にこれから数十年にわたってその影響を持たせるようなビジョンの

あり方としては大事な事ではないかと思っています。

子供が元気に育つ地域を作ろうと思ったら、結局やっぱり親が頑張らなあかんという 風に思うんです。最近では社会でも親が親になってへんという事をよく言われるんです けども、希望が育つ中播磨を実現するために主役は子供だけれども、キーになっていく のは子育て世代の親の我々だという風に思います。

この我々の住む中播磨地域は、兵庫県いろんな地域がある中でもこれほど都会と自然が共存したエリアっていうのは、なかなか無いと思うんです。

だからこそこういうゴミの減量化もそうなんですけども、この山川海のそれぞれの地域のネットワークというものの大切さというのは、我々中播磨の地域が一番重要視しなくてはいけないという風に思うんです。





意見交換会の主な意見



希望が育つ中播磨分野

希望が育つ中播磨の部分で、子どもが健やかに育つや、温かい思いやり、コミュニティには大変賛成しています。ここにぜひ、けじめや日本人としての誇りを持つ等、こういった視点を加えた政策を考えていただければと思います。自分達の生きがいを追及するだけではなく、自分達も何かをしなくていけないという視点、青少年教育・人間育成に活かせるような目標を、50年後を目指して立てていただきたい。

希望が育つ中播磨の中に、ふるさとに誇りを持てる子どもが育つ地域を目指そうという部分があります。主役は子供だが、実現するためには子育てをする親世代がカギとなってくる。この部分については、地域ビジョンの中に何らかの形で反映させていきたいと思います。

中播磨地域ビジョン委員会 赤鹿委員長

安全安心中播磨分野

防犯カメラの設置に関して、例えば学校と公園に設置をすると学校では市の教育委員会に、公園だと公園課に申請をするのだが、教育委員会では概ね簡単に設備費や管理費などについても了承願えるのだが、公園にカメラを設置するにはかなり厳しい色んなハードルがある。もう少し、柔軟に良い方向に向けた対応をしていただきたい。



安全安心に関しては行政と力を合わせて取り組んでいきたいと私も考えております。この防犯カメラであるとか防犯の傾向の分析というのは我々地域ビジョン委員会の大きな取組みの1つであり、安心安全の肝の部分やと思います。しっかりこのあたりはこれから取り組んでいきたいと考えております。

中播磨地域ビジョン委員会 赤鹿委員長

自然豊かな中播磨分野

山川海などの自然環境において、戦後の日本では経済一辺倒の開発が行われてきました。その結果、日本の経済を発展させた点においては評価出来るが、現

在では山林が手入れされず放置されているなどマイナスの面も生じてしまったと思います。そういった単一的な視点に基づいた開発ではなく、いろいろな関係者意見を取り入れた土地活用、土地利用といった考え方が今後必要になっていくのでは。

全体に色んな要素がつながって自然と我々の生活もつながっておりますし、自然の中で海と山と川とそれぞれつながっておりますし、そういうつながっているという仕組みをちゃんと我々自身自覚しようではないかということが大切だと思います。そういう意味では我々もいかに自分の小さい生活の中だけで考えるんじゃなく、それが日本全体、あるいは地球全体にどういう影響をあたえているのかということを常に意識しながら、勉強しながら、気配りしながら生きていかなきゃいけないと思います。 金澤副知事

元気交流中播磨分野

中播磨地域ビジョン委員会の【歴史街道「銀の馬車道」でつなぐ人と文化】グループでは、シンボルプロジェクトでもある「銀の馬車道」を世界遺産に認定してもらうことを活動の中心として取り組んでいます。



生野銀山から運ばれた鉱石が街道を通って飾磨の沖に出て、直島精錬所に行く。そういう過程を想像すると、生野銀山、明延鉱山、そして香川県にある精錬所、そして沖縄や大阪の造幣局という風につながっていけば大きなスケールのものになるのでは。そういったシナリオをしっかりと描くことが大事だと思います。

福崎町 嶋田町長

ブループ 活動 Group Activity レボート

中播磨の高齢者健康づくり

少子高齢化社会を迎える中、とりわけ高齢者の自立した健康管理が一段と望まれているところですが、個人ベースでの取組みには、継続性において難しいところがあります。そこで我々グループとしては、各校区の老人会単位で推進していただく一つの機会になればと考え、「体力測定会」を継続実施してきました。六種目の体力測定結果から体力年齢を計測し、自身の弱点を把握していただき、効果的な体力づくり運動について、データからアドバイスをさせていただきます。

本年度からは、健康づくりの為のニュースポーツの体験・普及活動にも取組んでおりますので、事務局までお申し付け下さい。



リーダー **馬部 一清** (7/7-10 アジア陸上 競技大会にて)

〈今後の予定〉

 〈増 位 校 区〉10月23日(日)
 午後 体力測定会と囲碁ボールの体験 50名参加

 〈船 津 校 区〉11月 4日(金)
 午前 体力測定会 80~90名参加

 〈城 南 校 区〉11月 5日(土)
 午前 体力測定会 25~30名参加

 〈勝 原 校 区〉11月26日(土)
 午前 体力測定会 80名参加

 〈城 乾 校 区〉11月27日(日)
 午前 体力測定会 80名参加

 〈御国野校区〉H24年1月22日(日)
 午後 体力測定 約40名参加



6分間歩行

ニュースポーツの 体験・普及にも 取り組みます







歴史街道「銀の馬車道」でつなぐ人と文化



歴史街道「銀の馬車道」でつなぐ人と文化グループでは今年度の取組として「銀の馬車道」を世界遺産にしようという目標を掲げて活動して参ります。

手始めに既に世界遺産として登録されている石見銀山を視察しました。レポートは次号紹介します! 「銀の馬車道を世界遺産に」この壮大な取り組みにぜひみなさんも注目してください。

H23年 6/25 銀の馬車道ラッピング電車を

カーター 木多見 哲夫

今までの活動 撮るう 撮るう かっぱん ラヤッターデャッス しょう







(これからの予定

☆山川海グループとのコラボイベント!「さあ、生野へ行くの!」バスツアー H23年 9/4(日)
☆写真教室作品展 H23年 秋ごろ



| 交流で育む産業づくり ~新たな中播磨の名物を体験・発見~|



_{リーダー} 中島 大一郎

中播磨地域の活性化のため、新たな観光 名所や、地場名産などの「名物」を探し出し、 それを発信していきます。また鮮魚・朝採れ 野菜の販売所など、販売網をひろげ、地元の 漁師・農家の人の生活基盤を支える活動を 行っていきたいと考えております。

平成23年7月17日(日)、交流で育む産業づくり~新たな中播磨の名物を体験・発見~グルー

プでは、坊勢島にて「あなご食べまくり2011」を開催しました。

このイベントは、播州あなごを中播磨の新たな名物にしようという活動の一環として、毎年夏に坊勢島の漁師の方々のご協力のもと開催しています。今年もたくさんの方々にお集まりいただき、新鮮な魚介類や活けあなごをご堪能いただきました。イベントの中で好評だったのが、中播磨の魅力を発掘しよう!と題した島内一周ツアー。坊勢島の豊かな自然や、漁港、神社などを巡り、地元漁師さんの解説で坊勢の新たな楽しみ方や、魅力を再発見できました。



★発見した坊勢の魅力★

- **◆**とにかくあなごがおいしい
- ◆漁港の船の多さに感動
- ◆高台から見る景色がきれい
- ◆漁師さんたちがやさしく温かい など

ゴミ減量化活動の輪を拡げよう



リーダー 西奥 啓二

自然を守り、次世代に引き継ぐ為に、ゴミのない街を目指し、各種イベント会場におけるゴミ分別啓蒙活動の実施、家庭用生ゴミ処理機の普及活動及び、「バイオエース」の姫路市の補助対象機種採用活動・EM活性液の普及にも努めています。

8月7日(日)猛暑の半日、福崎町は柳田國男歴史館駐車場特設会場の「福崎エコの会」ブースで『生ゴミ処理機バイオ君・バイオ君エース』の生ゴミから微生物(バイオ)発酵→生ゴミ堆肥の出来るまでを、顕微鏡で微生物を見ながら理解する啓蒙活動を実施しました。

土地柄、生ゴミ堆肥への関心は高く 来場者は61名。顕微鏡を覗いて「ほん まに動いてる」と驚かれ、また熱心な質 問もいただきました。

生ゴミ処理機バイオ君



心は高くいて「ほん 熱心な質

廃材を集めて作

られた車が展示

されていました。

世界初のエ

バイオ君開発者 西村さん

ふれあい交流の場「夢サロン」開催



リーダー 中杉 哲也

お米づくりを通して地域間交流と三世代交流の場をつくり、交流の活性化を進めています。お米づくり体験をしたい人、生き物観察やヤギとのふれあいなど自然体験をしたい人、いろんな人と出会いたいと思う人、是非ご参加ください。

今までの活動(姫路市香寺町恒屋にて)



11/12 収穫祭(もちつきやおにぎり、豚汁を作ります。)

12/17 しめ縄・ミニ門松づくり

※参加者随時募集しておりますので、ご希望の方は県民局ビジョン課までご連絡ください。

【「山・川・海」子どものための水のネットワークづくり〕



本グループでは、自然環境保全団体を紹介するマップを活用し、自然環境の活動を盛り上げ、各団体、学校、地域をつなぐネットワークのきっかけ作りを行ってきました。今期はネットワークの再構築を行います。

_{リーダー} 吉村 耕治

中播磨地域で自然 環境保全活動を行う 団体にアンケートをと り、実践活動の情報 を再収集し、課題を 抽出。



それに基づき活動 状況を知り、山・川・海で実際に活動をしている団体や 現地の見学をしようと考えております。また、それらの 団体が抱える課題解決に取り組み、ネットワークづくり

をさらに発展したいと考えております。 23年度スケジュール

- ・9月4日…銀馬車グループとのコラボイベント 「さぁ!生野へ行くの!」バスツアー
- ・10月 おち鮎の見学と試食
- ・11月 大塩的形ののじぎくを見学する
- ・ 3月 まとめの交流会を行う予定

子育て支援、地域で大きく育てよう!!



「地域で大きく育てよう」未来を担う地域の宝、子ども達が、健やかに育つ地域づくりと子育てに心と力を合わせて努力したいです。

リーダー 浦田 麗津子

今までの活動(出前子育て支援活動をしました。)

●7月20日(水) 午前10時30分より 南大津公民館にて







●7月29日(金)午前10時より 中寺学童保育園にて







次回イベント

| 9月10日(土)「ニコニコいっぱい!心に残る1日をつくろう!」

地域一体となった防犯への取り組み



^{リーダー} 原 正幸

地域一体となった防犯への取り組みグループでは、犯罪発生の季節的な特徴や発生の原因究明を図るため、犯罪発生マップの分析・調査を進めています。

また、各メンバーの居住地区 での子ども見守り活動を行うな ど、地域での防犯活動に努めて います。

【今年の防犯カメラ設置状況】

- ・北条公園に1箇所
- ・城陽小学校に1箇所



【23年度予定】

- ・飾磨橋東地区に設置された防犯カメラの設置台数 の把握と効果の検証を実態調査。
- ・スクールヘルパーの実態調査
- ・姫路警察署管内犯罪発生件数の月別集計

「たのしい絵マップ~地域と施設・作業所をつなぐ~



リーター **來住** 薫

昨年に引き続き「ひろがり」を テーマとし、絵マップの有効活用 を考えます。絵マップを利用す ることで地域との交流をめざし、 障がいのある方の社会参加のお 手伝いや地域の方との橋渡し、 施設同士のネットワークづくり をお手伝いします。





絵マップ作成にご協力いただいた施設・作業所へのアンケート調査をおこないました。いただいたご意見の中には、内容がとても良かったというものや、持ち運びやすい冊子にしてほしい、文字が小さい、広く配布、広報してほしいなど、多数のご意見をいただきました。アンケート調査結果を踏まえ、今後の活動に役立てたいと思います。

3号 連続 型の馬車道 全長約49km

中播磨地域ビジョン委員会では、「人の輪と地域の輪がつながる元気な中播磨をつくろう~つなぐ・つながる銀の馬車道~」を改訂版中播磨地域ビジョンのテーマとしています。今号から連続で、中播磨地域を縦につなぐ『銀の馬車道』沿線にあるおすすめスポットを紹介していきます。

第1弾は、中播磨地域の最北にある神河町を訪ねました。

神河町は兵庫県のほぼ中央に位置するパート型のまちで、平成17年11月7日に神崎町と大河内町が合併し、誕生しました。豊かな自然や多数の観光資源など魅力あふれるまちです。



銀の馬車道とは?

銀の馬車道は明治の初め生野と飾磨港の間、約49kmを結ぶ道として新しく作られ、正式には「生野鉱山寮馬車道」と呼ばれる、日本初の高速産業道路というべき馬車専用道路です。

中播磨地域を北から南まで縦断するこの銀の 馬車道は中播磨地域ビジョンのシンボルプロ ジェクトにもなっています。もちろん、中播磨地 域ビジョン委員会でもPR活動な

ど委員会を挙げて 取り組んでいます。

今回、はばタンが訪れたのは、ハート型の町、神河町にある「銀の馬車道交流館」。ここは、地域の交流の場やまちづくりの活動拠点として利用されています。また、神河町の歴史や文化、明治時代に活用された『銀の馬車道』などに関する資料が展示されています。



は、『銀の馬車道』に使われたマカダム方 式の模型やパネルがあり当時の様子が伺えます。

また、奥のお土産コーナーには、神河町をはじめとする 『銀の馬車道』関連のお土産がたくさんならんでいます。



次回予告!!

銀の馬車道連続企画 第2弾は…

市川町・福崎町を訪ねます!お楽しみに会

お問い合せ先 Tel 0790-32-0295(神河町商工会)

中播磨のイベント情報





銀谷祭り

平成23年9月25日(日)午前10時〜午後4時まで 朝来市生野町口銀谷地域 ⑬生野町観光協会 ☎079-679-2240

七種山ハイキング

飾磨の銀の馬車道ウォーク

「まっせまつり」会場内で"銀の馬車道クイズラリー"やりまっせ!

かみかわまるごと売りまっせ! 第12回「まっせまつり」

平成23年10月30日(日)午前10時~午後3時30分まで 神河町中村・栗賀町旧道 簡神河町商工会 **2**0790-32-0295

ふくさき産業祭~いきいきわくわく感謝祭~

銀の馬車道いちかわ商工祭

平成23年11月20日(日)午前10時~午後3時まで 市川町文化センター ⑬市川町商工会 ☎0790-26-0099

朝来歴史ふるさとウォークー生野の郷を歩こう-

平成23年11月23日(水)午前9時30分スタート(予定) 朝来市生野町口銀谷地区周辺・要申込 簡朝来市教育委員会 ☎079-677-2116

銀の馬車道沿線交流フェスティバル

平成23年11月26日(土)正午〜午後4時まで 神河町中央公民館 グリンデルホール ※「中播磨地域活動交流メッセ」と同時開催 働銀の馬車道ネットワーク協議会 ☎079-281-9369

香寺町農業•産業祭

平成23年11月27日(日)午前9時~午後3時まで

谷しろやまの杜ハイキング

平成23年11月27日(日)午前9時30分集合 市川町・谷の桜広場(集合)・要申込(11/15メ) ・ 11/15 (11

各イベント会場で配布された応募用紙に、イベント会場3ヶ所以上のスタンプを押して応募してください。





「姫路食博」とは、毎年秋に姫路城周辺で開催されている姫路を中心としたご当地グルメが集合する食のイベントです。 2011年は「第6回B-1 グランプリ in 姫路」と同時開催されることから、兵庫県内のご当地グルメが大集合します。

中播磨地域ビジョン委員会のゴミ減量化 グループが、清掃活動で参加予定です!

前回5/21~22に開催された「近畿・中国・四国 B-1グランプリ in 姫路」にてゴミ分別投棄の啓 発活動を行いました!



情報誌に対するご意見 で感想などのご連絡先 中播磨地域ビジョン委員会事務局

〒670-0947 姫路市北条 1-98

兵庫県中播磨県民局県民室ビジョン課 電話 (079) 281-9053 FAX (079) 281-3015 メール: nkharimakem@hyogo.lg.jp